

大阪医科薬科大学看護学部 2022 年度後期授業に関する方針

2022 年 9 月 15 日 看護学教育センター

新型コロナウイルス感染症罹患患者数は増減を繰り返しており、ワクチン接種は進んでおりますが未だ先が見えない状況です。本学部は、文部科学省の通達に基づいて「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」と本学の基本方針に従って後期授業の方針を下記の通りとします。

今後の新型コロナウイルス感染症の罹患状況を鑑みて、後期授業方法を前期同様に変更することになると思いますのでご了解ください。

学生の皆様の安全を考えつつ、学修内容の質を担保するため、感染予防対策を徹底したうえで後期授業を実施します。新型コロナウイルス感染症には十分に気をつけて授業に臨んでください。

1. 学事日程について

- ・学事日程は前期に配付した通りです。学事の変更等がある場合は、その都度ユニバーサルパスポート (UNIPA) にて配信します。

2. 授業方法について

授業は、原則として全員面接授業とします。但し、学生の感染状況によっては 2 教室を使用した分散授業やハイブリッド授業、オンライン授業（同時双方向授業は Zoom を使用）に急遽変更する場合がありますので、UNIPA は毎日確認してください。

なお、今年度からコロナ禍とは関係なく、科目により一部オンデマンド授業を導入しています。

1) 講義科目

- ・1 単位 15 時間（自学自習を含む 45 時間）の学修内容を保証します。
- ・**全員面接授業の場合は、基本的には 1 学年 1 教室とします。**
- ・各学年で 2 教室に分かれて分散授業をする場合は下記のとおりとします。
 - 1 年生：英語のクラス分けの A グループと B グループとします。
 - 2 年生：A グループ（学籍番号の奇数番号）と B グループ（学籍番号の偶数番号）とします。
- 教室は、講堂、講義室 3 と 4 を使用します。講義室 3・4 を使用する時は下記の通りとします。
 - 講義室 3/講義室 4：A グループは講義 3(4)、B グループは講義室 4(3)、(週ごとに入れ替え)
- ・ハイブリッド授業の場合は、半数の学生は面接授業、残り半数の学生は自宅でのオンライン授業になります。オンライン授業を受ける学生は、時間割通りに自宅から Zoom にアクセスをして授業を受けてください。
 - 1 週目：A グループは面接授業、B グループは自宅でのオンライン授業
 - 2 週目：B グループは面接授業、A グループは自宅でのオンライン授業
- *ハイブリッド授業の際は、なるべく事前に資料を配付できるようにします。配付できない科目は、Moodle に前日の昼までにアップしますので、個別で資料を印刷してご準備ください。
- ・期末試験あるいはそれに相当する試験は、面接授業とします。

2) 演習科目

- ・1単位 30 時間（自学自習を含む 45 時間）の学修内容を保証します。
- ・演習科目のうち、面接授業でしかできないもの（グループワークや技術演習、体育など）は 3 密にならないように時間割や教室を分けるなど工夫して授業を行います。
- ・グループワークや技術演習はフェイスシールドの着用を自由とします。但し、口腔ケアなどの演習でペア学生がマスクを着用できない場合は必ずフェイスシールドを着用してください。

3) 実習科目

- ・1単位 45 時間（臨地での実習時間）の学修内容を保証します。
- ・看護学実習は、基本的に臨地（病院、訪問看護ステーション、クリニック、施設、企業、保健センター等）において実習を行います。施設により実習受入れが中止の場合は、1 単位 30 時間以上の臨地実習時間の確保と、同科目の実習時間にグループ差がでないように考慮して、他施設を含めた調整を行います。不足時間は、学内演習等の代替方法により、学修内容を保証します。

3. 時間割等について

- ・後期時間割を UNIPA にて配信しています。紙ベースの時間割が欲しい学生は、看護学事務課で受け取ってください。
- ・但し、感染状況によって急遽時間割変更する場合がありますので、ご承知おきください。

4. 出欠席管理について

- ・面接授業の場合は、通常通りに教室の出欠端末で登録してください。
- ・オンライン授業を受ける学生は科目責任者の指示に従ってください。基本的には Zoom のチャット機能を用いて授業開始時に学籍番号と名前を登録してください。なお、オンライン授業の出欠登録については UNIPA への反映に時間がかかる場合がありますのでご了解ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の罹患者（当該感染者）や濃厚接触者、あるいは当該感染症疑いの症状がある学生（疑感染者）は、必ず保健管理室に連絡し、その指示に従ってください。
- ・本来は面接授業を受ける日であるにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症に関連する症状以外の理由（寝坊、特定の病気など）で面接授業を欠席した者は、通常通りの扱いとして欠席になります。尚、欠席にはなりますが授業の聴講を希望する場合は、科目責任者の許可を得た上で Zoom による授業の参加は可能です。非常勤講師の場合は看護学事務課にご連絡ください。
- ・新型コロナウイルス感染症関連で Zoom 授業に出席する場合や、新型コロナウイルス感染症関連以外で授業の聴講を希望する場合は、朝 8 時 30 分までに UNIPA アンケートに回答してください。なお、Zoom 設定等の準備があるため、朝 8 時 30 分を過ぎた場合は、受け付けませんのでご注意ください。また、授業内容により、全ての授業が聴講できるとは限りませんのでご了承ください。

5. 教室の使用について

- ・講義・演習の場所は、時間割をご参照ください。
- ・授業中は、窓と教室の扉を開放し、換気扇を「on」にして常に換気をしましょう。
- ・昼食時は黙食を遵守し、会話をする場合はマスクを着用してください。

6. 新型コロナウイルス感染症の関連症状がある学生の対応について

新型コロナウイルス感染症の関連症状がある場合は、以下の通りとします。

1) 講義・演習科目

- ・新型コロナウイルス感染症罹患者（当該感染者）や濃厚接触者、あるいは新型コロナウイルス感染症の疑いのある症状が出現している学生は、必ず保健管理室に相談し、その指示に従ってください。
- ・当該感染者や濃厚接触者になった学生は、出校停止（自宅待機）となります。自宅待機期間が解除になり大学に登校する際には、自己判断せず必ず保健管理室の指示に従ってください。
- ・無症状あるいは軽症の当該感染者や濃厚接触者の学生は、自宅でオンライン授業を受けるようにしましょう。高熱などで重症の場合は、無理をせずに適切な療養行動をとってください。
- ・当該感染者あるいは濃厚接触者、疑感染者の出欠席の扱いは、履修のてびき 41 頁の「学校感染症（学校保健安全法）による出席停止」と同じ扱いとします。
- ・当該感染者等で授業日数が不足する学生は、欠席した授業科目において補習授業を受けられるように配慮します。

2) 実習科目

- ・当該感染者や濃厚接触者、あるいは疑感染者の学生は、保健管理室に報告し、その指示に従ってください。必ず科目責任者にも連絡してください。
- ・当該感染者や濃厚接触者になった学生は、出校停止（自宅待機）となります。
- ・当該感染者や濃厚接触者になった学生は、出校停止（自宅待機）となります。自宅待機期間が解除になり大学に登校する際には、自己判断せず必ず保健管理室の指示に従ってください。
- ・実習病棟で当該感染者が出た場合、受け持ち患者および当該病棟のスタッフに陽性者がでていない場合は実習を続行します。担当教員から当該病棟で陽性者が出たこと、実習続行と判断した根拠、感染予防行動の確認、不安が強い・持病があるなどの事情がある場合は、教員が個別に相談に乗り、安心して実習に臨める環境作りに努めます。その上で実習に参加できない場合は欠席となります。
- ・当該感染者や濃厚接触者、疑感染者などで実習日数が不足する学生は、後日追実習を受けられるように配慮します。

以上